

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1992(春・夏号)



vol. 7

SHIKI

2nd総会

平成4年11月29日(日) 京王プラザホテル

志木会が結成され、早くも2回目の総会!

なつかしい顔… 語らい… 唱い…

&

[福引抽選]豪華景品多数の驚き! 喜び!

パーティーだ、フィーバーだ、全員集合だ



(創立総会より)

FROM SHIKI ●志木だより

OB諸君の活躍

最近、たいへん嬉しいことですが新聞その他で志木高OB諸君の活躍が目につきます。

昨年8月には読売新聞社の主催で行われた「東京発・あなたが世界にアピールしたいこと」をテーマとする学生論文コンテストで、法学部法律学科1年の鈴木隆太郎君の論文「脅威の自然破壊」が最優秀賞を受賞しています。大学院生・大学生・短大生の応募作品219点の中から選ばれたものです。審査員の講評では「環境問題をテーマにし、人類と自然との共存について安定度の高い作品である。環境破壊とその対応の現状を批判するだけでなく、『自然破壊とは文明そのものに付随する宿命的危機だ』と強調している。しっかりした論述の座標軸をもっているに違いない。」と高く評価されています。

12月には第41回全日本学生法律討論会において同じく法律学科3年勝浦大達君が「立論の部」で第1位に選ばれています。「女子大学から共学校に変わった後も男女の定員枠に差をつけていたA国立大学を受験した男子が、女子の最低合格点よりも高い得点にも拘らず不合格になったことを不服として提訴するとの設問に含まれた憲法問題に言及せよ。」という出題について、複雑な論旨を立てながらもそれを明解に論じ、態度も立派ですべての審査員に好感をもって迎えられたということです。

本年1月には、種村貴史君が恒例の百人一首第38期名人位を獲得し、8年連続8回目の

名人位につくという快挙をなしとげました。

「百人一首を覚えたのは慶応志木高のとき」として朝日新聞の「ひと」欄に紹介されているのを見た人も多いことと思います。同欄で種村君は「百人一首の魅力は緊張感。将棋や囲碁は自分の考えを組み立てていけるが、かるたは札が読まれるまで何が飛びだすかわからない。実力差があっても運が絡む。その意外性がいい。」と感想を述べています。

これらのニュースは学校の掲示板で紹介をしましたが、在校生たちもそれぞれに興味をもって見ていたようです。良い意味での刺激を与えてくれたものと思います。

卒業と進学

今年度の卒業式は3月24日に行われました。卒業生総数は261名です。新しい志木会員として迎え入れていただきたいと思います。進学状況は下記の通りでした。

文学部	3名
経済学部	106
法学部法律学科	45
法学部政治学科	45
商学部	9
医学部	7
理工学部	27
総合政策学部	6
環境情報学部	6
辞退(他大学受験等)	7

なお、今年度より卒業後40年にあたるOB諸氏に卒業式に列席願ひ、新しい卒業生たちの門出を見守っていただくことになりました。

今回は1期及び2期の志木会員のうち住所の確認できている96名の方々をご案内しています。

教員室の異動

外国語科の萩原健次先生が3月末日付で定年退職されました。1970年(昭和45年)4月に本校に着任されて以来20余年にわたり英語の授業を担当されました。また庭球部長に続いて写真部長を長くつとめられました。昨年夏に体調をくずし暫く入院を余儀なくされましたが回復され学校に戻られたのは喜ばしいことでした。今後も健康に留意されお元気にお過ごしいただきたいと思います。

新年度より国語科の伊東明弘先生が湘南藤沢中・高等部に移籍されます。同じく社会科

の斉藤英里先生が北海道武蔵女子短期大学へ移籍されます。同じく新年度より国語科・中地譲治先生(塾文学部国文学専攻卒業)、外国語科・河内一博先生(塾商学部、文学部英米文学専攻卒業)、理科・井沢智浩先生(筑波大学第2学群生物学類卒業、同大学院修士課程教育研究科修了)が着任されます。

(松崎記)

志木演説会

今年度中に開催された3回をあわせて志木演説会も通算61回となりました。人間の年齢に例えれば還暦の回数を重ねたこととなります。これまでの講演をふり返ると別表の通りとなります。皆さんの在学中の講演も含まれているはずですが、記憶に残っていますか。

志木演説会の記録

回数	開催年月日	講師	演題
1	S.32. 5. 4	奥井復太郎	慶應義塾について
2	S.32. 6.12	田島 一郎	数学の学び方
3	S.32. 7.15	森 八 郎	白蟻の習性について
4	S.32.10.15	村田 武雄	我々に芸術はいかに必要か
5	S.33. 1.24	金原賢之助	米国・台湾旅行
6	S.33. 5.14	土橋 俊一	福沢全集の編纂
7	S.37. 1.17	吉田 啓一	ヨーロッパの話
8	S.38. 1.17	吉田 啓一	
9	S.38. 5.31	島崎 隆夫	英国留学でみたこと 感じたこと
10	S.40. 4. 9	富田 正文	福沢先生と長沼事件

回数	開催年月日	講師	演題
11	S.41. 2. 3	会田 倉吉	福沢先生について
12	S.42. 2. 3	吉田小五郎	家庭における福沢先生
13	S.43. 2. 3	佐原 六郎	福沢先生の社会観
14	S.44. 2. 3	宮崎 友愛	福沢先生の学問観
15	S.45. 2. 3	中山 一義	
16	S.45. 5.22	藤田 広一	科学的な物の見方
17	S.45.10.29	村松 暎	毛沢東の中国
18	S.46. 2. 3	高橋誠一郎	私の見た福沢先生
19	S.46. 6.14	池田弥三郎	日本文学への招待
20	S.47. 2. 3	内田 英一	水脈のあとは大きい

回数	開催年月日	講師	演題
21	S.47. 6. 9	三浦 朱門	青春と文学
22	S.47.11.13	渡辺 格	生命と物質
23	S.48. 2. 3	高村 象平	福沢精神私見
24	S.48. 6.19	十時 巖周	工業化と未来社会
25	S.49. 2. 2	渡辺徳三郎	福沢先生の遺言
26	S.49. 5.14	加藤 寛	経済学の見方・考え方
27	S.50. 2. 3	野口 祐	福沢諭吉と現代世界
28	S.51. 2. 3	松本 正夫	福沢諭吉—思想とその人—
29	S.51. 5.26	白石 孝	文化と経済 —世界を見る窓—
30	S.52. 2. 3	神山 四郎	福沢諭吉の歴史哲学
31	S.52. 6.19	田島 一郎	数学を楽しく
32	S.53. 2. 3	手塚 豊	福沢先生と法律
33	S.53. 6.13	石川 忠雄	これからの社会と慶應義塾
34	S.53.10.16	宮崎 澄夫	学生時代の思い出
35	S.54. 2. 3	西岡 秀雄	物の見方と考え方
36	S.54. 6.15	村井 実	歴史の断面
37	S.55. 2. 2	池田弥三郎	一冊の本
38	S.55. 6. 9	島崎 隆夫	近世思想家に学ぶ —心か制度か—
39	S.56. 2. 3	池田 優	日本人の西洋体験 —福沢先生を中心として—
40	S.56. 6. 2	浅井慶三郎	「最近の百貨店及びスーパーの出店問題」
41	S.57. 2. 3	飯田 鼎	福沢諭吉と西郷南洲

回数	開催年月日	講師	演題
42	S.57. 5.10	高橋 碩一	歴史に生きる人生
43	S.58. 2. 3	若林 真	塾風論
44	S.58. 5.16	手塚 豊	慶應義塾125年史 あれこれ
45	S.59. 2. 3	石坂 巖	福沢諭吉という 人間について
46	S.60. 2. 2	浦 昭二	コンピューターと社会
47	S.60. 6.28	石川 忠雄	私と慶應義塾
48	S.61. 2. 3	内山 秀夫	福沢諭吉—人と時代—
49	S.61. 6.17	村田 昭治	日本企業の成長の秘密
50	S.62. 2. 3	鈴木 孝夫	虹の色は何色か —言語と文化の関係—
51	S.62. 6.11	伊藤 清司	二つのみんぞく学
52	S.63. 2. 3	河北 展生	福沢先生と中津
53	S.63. 6.15	相磯 秀夫	社会の変動と学問のあり方
54	H.1. 2. 3	桑原 三郎	木村摂津守と小野友五郎
55	H.1. 7.11	宮下 啓三 協力(朗読) 新田勝江(俳優座) 原田清人(俳優座) 遠藤玲子(文学部 独文科4年)	言葉について —朗読による言葉の鑑賞—
56	H.2. 2. 3	田山 力哉	映画と野球と慶應義塾
57	H.2. 7. 6	鈴木 祐一	法律家への道 —慶應義塾に学んだもの—
58	H.3. 2. 2	平川 祐弘	フランクリンと福沢諭吉を 通してみた日米関係
59	H.3. 7.16	友寄 英哲	四方桁への旅 —ギネス記録への挑戦—
60	H.3.12.19	西岡 秀雄	日本人の源流を探る
61	H.4. 2. 3	川澄 哲夫	福沢諭吉とジョン万次郎

同期会だより

1期 [四季会]

拝啓 その後益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

光陰如矢、母校よりのお招きを受けふと指折数えれば卒業以来四十有余年、紅顔の美少年もいつしか簪に耐えざらん齢ひととなりました。

我々の残された人世を祝福するが如、前日までの雨も上がり春の太陽が眩しく輝く中で慶應義塾志木高等学校第四十二回の卒業式典が執り行われ、特別に用意して戴いたOB席で在校生、ご父母と共に卒業式に参列しました。

鉄野志木高等学校長より一人一人のOBが壇上に上がり「記念証」の授与を受けました。まさかこの齢になって学校より賞状を戴こうとは夢にも思っておりませんでしたので、この感激も一入のものがありました。それに加えて我々に送られた在校生、ご父母の暖かい万雷の拍手を背中に受けて目頭の熱くなるものを感じました。

式典の最後は、井上栄一君のピアノ伴奏で「塾歌」を全員で斉唱し滞りなく終了しましたのでご報告致します。

大谷記

当日の参加者は以下の通り。(順不同・敬称略)

今井義夫、桜井英太郎、菊地誠之助、矢島醇一、
桜井栄三、田中久雄、桜井孝之、井上栄一、藤井 淳、
中込 旭、稲葉義美、龍野和久、神山 尉、加藤精三、
高木道廣、栗田陸弘、宮代 茂、松本仙太郎、大桐菊郎、穂刈幸雄、大谷 熙、 (以上I期)
鴻田一章、河辺勝利、林 二郎、宮本 明、遠山正秀、
高篠富雄、忽滑谷岱司、堀江信夫、谷澤誉志、花井良文、細野 勝、仙石正夫、嵐田三郎 (以上II期)

追記 学校側をご招待した心ばかりの祝宴に出席できないということでII期の高篠富雄君、谷澤誉志君、忽滑谷岱司君より金一封のご寄付を戴きましたので併せてご報告します。



卒業40周年記念証

大谷 熙 君

貴君が本校を巣立られて40年の歳月が流れました。社会のそれぞれの分野で活躍されている先達として 今日ここに新しい門出をする後輩たちの卒業式にご列席いただきました。永い年月に亘り後輩たちの良き目標となられ、本校を支えていただいたことへの敬意をこめてここにこの記念証を贈ります。

1992年3月24日

慶應義塾志木高等学校

拝啓 時下ますますご清栄の段大慶に存じます。本校では今年度より毎年の卒業式に卒業後四十周年に当たる卒業生各位をお招きして新卒業生諸君の門出を祝福して頂くことといたしました。今年度は第一回及び第二回卒業生各位を左記の要領でお招きいたしますこととなり、またなにとぞご臨席下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

日 時 三月二十四日(火) 午前十時開式
(午前九時四十五分までにご来校下さい)

式 場 本校体育館

追ってお手紙ながら同封の誓書でご出席を三月七日までにお知らせさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

一九九二年二月

慶應義塾志木高等学校校長
鉄 野 善 資

6期

4月17日(金) 午後六時半から、三田キャンパス『幻の門』の筋向い、三田中国飯店にて、同期の会を開催します。多くの懐しい顔が集る筈です。大館先生、高山先生、三田先生もご出席いただける予定です。きっとその頃は三田山上の桜の花も終了、銀杏の新芽が顔を出していることでしょう。志木の校門を出て三十七年、今は亡き当時の宮崎澄夫校長先生も天国で、微笑んでおられるような気がします。

(第6期 内藤 久和雄)

11期

[遊志会]

平成4年度のスケジュールが決まりました。今年はセミナー1回、ゴルフ会2回、懇親会1回と従来より回数を少なくして内容をこく、できるだけ多くの皆さんに出席頂けるよう企画してみました。そして、今年の11月、志木高創立40周年に当り志木会の総会が予定されておりますので大いに盛りあげて行きたいと考えています。

尚、今年の幹事はA組の大海渡嘉夫君、坂本照夫君、鴻田益孝君、橋本裕治君、駒月昭雄君、西松実君にお願いすることになりました。

[平成4年度スケジュール]

○4月10日(金) 第14回セミナー

於：銀座「SPACE88」

時間：6:30PM～

テーマ：「カルシュウムで成人病の予防」

講師：黒田重臣君(11期、国立大蔵病院内科)

○6月上旬 第44回ゴルフ大会

於：未定 (幹事：松川勉君)

○7月25日(土) 懇親会

於：青山「仿膳飯荘」

「清朝中国宮廷料理」の午餐会

時間：12:00～2:00PM

○10月上旬 第45回ゴルフ大会

於：未定 (幹事：前回優勝者)

○11月29日(日) 志木会総会

於：京王プラザホテル

出来るだけ多くの方に出席願いたいと思います。遊志会の忘年会も当会で兼ねたいと考えています。

以上

(11期 馬淵祥宏)

13期

我ら13期は今年で大学を卒業して25年を迎えた。この3月23日に挙行された卒業式に50年目の大先輩と一緒に塾よりご招待を頂き参席した。

歳月の早さをしみじみと感じると共に卒業生と肩を並べて、親になった錯覚を覚えた。列席した仲間は塾で学び、社会へ巣立ったことを誇りに思い、改めて塾の良さを肌で感じとった事だろう。2度目を待たれる諸兄及び後輩諸君、是非志木でも味わいたいものだ。

(13期 千葉宗雄)

40期

私達が志木高を卒業したのが1990年3月、2年の歳月が過ぎました。「光陰矢の如し」と言いますが、月日の経つのは本当に早いものです。私達はまだ大学生なので、キャンパスなどで会う機会も多く、同期会を開催するほどには至っていません。みんなが大学を卒業して、社会人としてそれぞれに落ち着いてきた頃には、同期会を開催したいと思っています。これからも、様々な面でのご支援、ご協力をお願いします。

(40期 井上 晴生)

訃報

松橋 良直 (1期) 平成3年6月

小野田 晏久 (1期) 平成3年12月

奈良部 誠四郎 (1期)

名簿委員会よりのお願い

来たる名簿改定にあたって以下の会員の方々の住所などが不整備です。より充実した名簿発行のために会員皆様のご協力が、ぜひとも必要です。お忙しいことは存じますが、調査方々お願い致します。判明した方については同封のハガキにて事務局までご一報の程をお願い申し上げます。

第1期

相原 喜一
秋本 隆男
有坂 幸三
生田 一哉
石田 隆一
板橋 澄男
川口 照雄
大沢 睦玄
加藤 明
黒瀬 貞治
菅岡 武雄
篠原 伸吉
下遠 祥郎
鈴木 悠基
祖父 江有司
高木 敏雄
高橋 忠治
村島 剛一
中西 信雄
中野 義雄
渡部 福司

第2期

宇津木 貞夫
江成 敏夫
加藤 英治
兼田 重剛
佐藤 和夫
佐藤 克己
津川 邦雄
津田 豊浩
堂本 浩夫
中村 信夫
永山 誠一
姫路 昭一郎
松宮 野太郎
宮野 小隆一

第3期

東 明良
伊勢 吉春
池尻 勉
岩井 和也
上野 良明
梅原 耕一
海老沢 清彦
小田 康平
岡本 元治
小宮 啓道
河野 幸一郎
榊原 善光
鈴木 光男
塚越 一二

三上 佳保
村上 哲次
山下 彬
山元 康邦
横川 勇

第4期

石原 浩
近藤 善夫
湯村 嘉朗
吉岡 剛博

第5期

浅見 邦夫
井堀 繁雄
岩田 洋治
館野 勝
草柳 進
田中 保男
田村 盛一郎
多賀 博
高瀬 朋亮
高山 信幸
丹野 英次
平野 宏人
村岡 博定
望月 浩美
森田 昭
山崎 崎
山本 吉璋
吉居 正裕

第6期

小沢 毅
大久保 好藏
大里 藏
荻野 高司
粕谷 陽一郎
木城 章夫
黒川 博元
森川 昭祐

第7期

岩崎 浩一
岩野 一彦
小田 英雄
鈴木 一男
林 充基
細井 一身
稔

第8期

味戸 美樹
井上 洋二
内堀 秀虎
大久保 一成
下園 四郎
島 文和
野中 光政

藤川 俊彰
前田 裕二

第9期

岩井 清方
(武村)
岡田 威夫
亀尾 康憲
川田 淳也
小林 紀
小林 武
佐藤 和雄
佐藤 義夫
桜井 嘉一郎
崎崎 秀
鈴木 基晴
田村 健二郎
高仲 栄一
高橋 国男
舟久保 克
前田 光男
目崎 光義
吉田 光樹

第10期

田中 公司
多根 公司
中原 幹夫
西井 浩哉
猪股 史彌
(高野)
石川 和夫
大橋 英樹
岡谷 一彦
岡谷 彰垣
木下 健
柴田 陽弘
白川 昭
中村 光延
西村 陸宏
福田 高義
吉田 英樹
佐藤 洋之
野木 強一
齋木 敬邦
関口 裕志
田中 英毅
渡辺 俊夫
伊東 篤夫
今中 康夫
大谷 英石
奥村 隆一
官林 秀樹
上 守康
松本 建夫
守屋 宣照

第11期

池田 嘉秀

市川 清隆
木脇 俊
北木 孝夫
鈴木 哲仁
之内 正弘
細井 和樹
森 良
阿部 恭行
秋成 直躬
今井 宏浩
佐藤 泰明
須田 泰明
鈴木 日出彦
成瀬 康中
古田 正毅
古武 勝
吉武 徹
加藤 倫義
金木 邦夫
津 迪
木 透
佐藤 宏允
松島 陽三
吉原 治
原田 侑二
山口 武彦
井上 武彦
木村 芳二
久保 仁
高塚 暢二
(渡辺)
中島 実
難波 光由

第12期

今村 洋一
唐鎌 潔
藤 文孝
村上 礼
荒沢 信夫
奥平 植男
白壁 征夫
辻 欣志
中村 直昭
野呂 真也
牧 和俊
松島 保正
山本 典嗣
上石 実淳
小石 昌臣
瀬川 魁
登山 孝
本田 一
牧野 元豊
今井 迪夫
大石

大岡 洋公
西 平吉
大西 皓孝
根谷 信行
深井 正典
福井 裕二
井松 政直
森村
横尾

第13期

久礼 初男
後藤 昌三
長浜 哲一郎
水野 善弘
森 勝幸
高知 章雄
高橋 勲
丹羽 誠
西出 一郎
浜田 隆雄
藤里 宣孔
八木 昭雄
吉武 尚孝
石村 幸晴
石木 烈雄
片岡 洋一
菊間 裕展
葛井 統也
栗田 博之
五箇 俊男
佐羽 直毅
羽根 迪男
棟田 貞臣
百瀬 雄一
矢部 橋彦
山本 八郎
若田 巖夫
渡辺 洋助
伊川 薫次
大崎 勇次
大隅 正典
香川 誠彦
兼子 維彦
鴻森 健治
渋谷 忠夫
島田 康夫
中井 直也
村岡 泰
百崎 琉生
山本

第14期

石塚 久恭
加藤 精一

五郎 治
中山 暗
村瀬 興
清水 博
白土 宣夫
根田 雅美
瀬川 豊
関 徳治
田中 嘉昌
高橋 太郎
健太郎
梁山 正俊
鳥羽 映一
廣瀬 泰彦
大木 俊雄
大城 秀隆
周防 仁海
中尾 公一
西浦 常雄
播 文崇
福永 稔
柳川 源二
磯 武
岡本 秀樹
神山 昌之
頼田 悌二
中島 康三
中田 三郎
真島 良次
和島 晃

第15期

荒 邦彦
山下 均
小野 直
岡村 俊夫
高井 真正
新井 正隆
川村 邦生
小寺 隆之
小山 和人
瀬戸 龍介
谷口 則夫
石村 烈
岩倉 具伸
森 保晴
門間 賢生
阿部 久正
秋元 一之
楠田 格
鈴木 慶一
西山 裕之
野村 明徳
若林 紀生

第16期

一色 伸夫
市瀬 祐二

今井 正弘
内田 裕行
梅田 利之
小沢 邦宏
小野 展夫
大沼 哲夫
大島 博史
奥田 治
加藤 次郎
加藤 武裕
工藤 正明
佐木 親彦
里見 直人
塩入 修
重田 啓正
清水 吉宏
須水 一夫
関 智博
谷 隆夫
多田 直人
高橋 常紀
竹松 清
中川 泰彦
中村 晃三
長村 晃三
西村 亨
根木 圭治
原 一郎
坂東 伊作
平尾 文
藤ノ木 忠
藤村 一翁
本田 和明
松尾 達隆
松岡 光彦
松下 正義
松谷 洋
三宮 光正
宮坂 泰史
森田 八彦
矢沢 誠吾
柳沢 良和
山下 紀一郎
山田 恒憲
横溝 進
吉田 正之

第17期

小山 雄太
会田 晴彦
打矢 功一
江川 陽一
上岐 照雄
西野 知一
江前 公秀
門脇 正樹
小高 秀樹
杉本 仁
田中 雅一
滝沢 透
江藤 雅夫
勝田 秀夫
森 裕雄
青山 高志
勝沼 均
柴田 武石
武川 恒明
小川 次雄
川口 英治
張 圭治
増田 富佐
松井 博行
米林 俊一
牧 兼生

第18期

池尾 博文
小野 沢義雄
大場 昭吉
斎藤 仁志
坂本 好昭
榊原 昭正
鈴木 宣雄
高橋 徹夫
竹沢 美治
水野 和則
宮平 正樹
村田 久
鷺山 幸夫
奥 裕一
鈴木 丸
坪井 隆二
手塚 良一
富田 賢一
浜田 保宣
堀内 良一
前川 正
宮崎 正人
横安 裕格
有田 次郎
井口 敬一
池内 正

第27期

角倉清晃 河合壯一 木村孝博 園田秀泰 安藤俊勝 飯田智弘 石井一朗 岩田徹孝 内海康仁 小松康次 中島健道 西田卓 浜田英作 堀谷博光 前崎光弘 廣田大上 大上祐一 関龍治 関俊明 田川雄一 高橋幹三 中野紀男 廣中晴彦 星野井出 井出好昭 石田茂利 嘉藤典俊 杉本拓司 竹野延男 德山鐘雄 林本真朗 本田照王 美平英仁 村戸雅之 青藤篤直 加藤武文 茂松須賀 須賀有弘 谷内雄一 古川雄一 増田伸人 安岡博之 諏訪宏 竹田周作 角田哲夫 中野宗樹 渡辺

第28期

安達新一郎 阿部滋 飯島喜一 勝木信二 堀川裕一 川上幸一 向後雅昭 柴田秀弘 新高悦彦 高橋亮彦 福田雄彦 山田守之

孝博二州明樹夫 小島杉井田中村南村若林秋田池田岡田内川浪花松村(李俊)後藤相馬田中山長沢西松谷渡辺梅河間坂本中村安田石井久保田小島

第29期

大熊仲治 大野太郎 木村親永 国貞泰生 鈴木康二 関田陽介 藤田雅明 伊崎俊郎 伊崎淳 岡田重昌 桂任人 佐々木鈴木前野松本峯岸武藤安部彰 石田純寛 斎藤克文 長屋文隆 西川雄一 増田行人 山崎裕史 弓削達也 明石猪俣俊人 裏地正明 釜釜地裕久

小泉繁介 小山智裕 山庭裕昇 清水勲 水口路彦 関高橋拓司 中島篤司 平野哲 井口益宏 桂成秀樹 小柴敬一 桜井慎一郎 野沢智之 広田伸幸 山口拓 吉田幸彦 阿部忠嗣 池上丈二 富田友重 岡崎表金子 佐藤久志 野田佐木 真島宏 前田亨 横山光生 植田慎治 内田清丈 内高直人 百瀬春彦 山崎俊郎 青木元一 飯塚浩史 工藤雄一 重松芳郎 松葉慎二 鎌田良正 高瀬真樹 竹内靖晃 福岡雅一 堀井敏大 水野和久 野上保豊 江森大 久保泰男 黒田義明 舟所仁 松田充浩 安藤浩一 石井浩一 小川秀樹 塩川研一 野路弘一 森木潤一 青木林行 佐々木徹 新城毅彦 高橋哲也

第30期

植田慎治 内田清丈 内高直人 百瀬春彦 山崎俊郎 青木元一 飯塚浩史 工藤雄一 重松芳郎 松葉慎二 鎌田良正 高瀬真樹 竹内靖晃 福岡雅一 堀井敏大 水野和久 野上保豊 江森大 久保泰男 黒田義明 舟所仁 松田充浩 安藤浩一 石井浩一 小川秀樹 塩川研一 野路弘一 森木潤一 青木林行 佐々木徹 新城毅彦 高橋哲也

村田明弘 目良淳 吉田宏 米山稔男

第31期

阿部守雄 伊沢伊東和 伊岩上藤健一 高田政行 平田高久 森本剛一 吉田敬樹 上蘭英樹 太田惠一 甲斐下俊亨 田辺雅志 高東昌義 中村一彦 和村英樹 糸賀勇治 河口石真男 白石高孝 高橋真孝 細井真孝 屋代内林 緒方寿夫 小宮山和太郎 小山博一 古垣内博一 多和田武 大胡俊 中村昌幸 村重望 山下浩史 米谷慶一 稲垣直 大谷英樹 北島喜幸 高椋映彦 鳥居利夫 屋原順道 浜田秀博 丸太秀実 吉田充寿 上田晋司 小沢治之 尾形修 芽野徹 倉持英樹 清水敏暢 親崎茂仁 高橋隆志 德田直人 野慶一 横山夫 吉田宗晋 植田幸彦 馬野俊彦

第32期

村田明弘 目良淳 吉田宏 米山稔男

榎本裕智也 佐野伸一 高波良治 横田治司 荒井潔 川真田隆成 佐久間誠 松田英行 山本正宏 大川光庸 菊地庸輔 二宮直樹 西川徹 橋野敬一 浜野雄喜 半沢公寿 廣瀬竜一 丸山晃 石附知美 大森信彦 木村達雄 高橋吉彦 東山昌彦 永山佳通 真鍋敬司 伊香和貴 冲水高志 加藤正人 志田隆 神宮秀一郎 高林洋 寺田容敬 山田恒之 大里直哉 川上彰 黒田正彰 杉岡信宏 園田信宏 池田重人 内倉真紀 大久保和征 城本卓国 寺友好真 友好一 半谷順洋 長谷川信濃 林嘉也 堀越和也 松山達也 丸山鉄水 阿部浩嗣 伊藤和久 井真彦 控直樹 大塚敏 佐佐直樹 須崎敏 高橋敏 深谷裕一 小野一德 大塚泰成 加藤和男 川合康之 川瀬裕司 外尾竜一 根中根貴弥

第33期

池田重人 内倉真紀 大久保和征 城本卓国 寺友好真 友好一 半谷順洋 長谷川信濃 林嘉也 堀越和也 松山達也 丸山鉄水 阿部浩嗣 伊藤和久 井真彦 控直樹 大塚敏 佐佐直樹 須崎敏 高橋敏 深谷裕一 小野一德 大塚泰成 加藤和男 川合康之 川瀬裕司 外尾竜一 根中根貴弥

西脇謙二郎 古沢秀彦 松岡洋介 松田一弘 八木隆 綾井健太郎 高野慎泰 宮本雅洋 安富淳 山下昌彦 稲村隆司 清水建司 田中良 野矢敦寛 服部恭行 樋口勝敏 石部進 江原直也 勝目聡 岸本達夫 佐々木慶吾 下妻雅彦 横滨亮 渡辺

第34期

大隈賢治 鈴木治 山岐真作 宇賀神隆光 坂原裕光 関雅文 立田雅人 新美誠 吉村祥一 加藤宣之 栗俣宗之 中村健治 西田健司 室中健司 渡辺進 岸沢啓史 大野啓史 高松慎一郎 前田善德 横田哲郎 井上弘世 近江康晴 久保修一 瀬戸川賢一 田中充 田晶正樹 西本新也 大沢宏樹 坂本健夫 長久幹 菊地哲也 加藤哲也 樽見健治 西沢理夫 満田樹人 石谷周煥 大原英二郎 森修 山崎猛悟 和田

第35期

大沢宏樹 坂本健夫 長久幹 菊地哲也 加藤哲也 樽見健治 西沢理夫 満田樹人 石谷周煥 大原英二郎 森修 山崎猛悟 和田

黒野雅資 原啓一郎 平本洋一 矢下健二

第36期

大山真且 長田展明 熊田德英 中林幹夫 村田仁志 納所伸樹 村橋正太郎 山口林太郎 瀬戸研司 萩野啓哲 上野健二 川又陽介 宮崎吾裕 毛利裕二 東海林毅 坂垣律雄 加藤明之 上原淳 井廣一郎 沼田武彦 三好豊 森本悦朗 松永源太郎 安弘裕二 田中賢一郎 古屋直人 上野一郎 河田直人 中村直人 葛西克彦 土田成彦 西川亨 川寛之 菊池衛都 池田博一 大塚剛 林浩之 松本圭 北田亮 世良州 津村正晃 富原雅 羅粟倉高志 大森香村 電一 日高崇介 鳥越昌修 内藤崇人 福田泰

第38期

田中賢一郎 古屋直人 上野一郎 河田直人 中村直人 葛西克彦 土田成彦 西川亨 川寛之 菊池衛都

第39期

池田博一 大塚剛 林浩之 松本圭 北田亮 世良州 津村正晃 富原雅 羅粟倉高志 大森香村 電一 日高崇介 鳥越昌修 内藤崇人 福田泰

慶應義塾志木高等学校同窓会名簿 広告ご掲載のお願い

光陰矢の如しと申しますが、本当に年月の経つのは早いもので、私達の同窓会(慶應志木会)も昭和63年に設立総会を開催し、今秋には第2回総会が予定されております。卒業生も九千名を越し社会の多方面にわたって活躍しております。

同窓会創立以降の会員の増加・動向の理由により、このたび第2回の同窓会名簿を刊行いたすことになりましたが、現在各年度幹事による校正の段階であります。ついては同名簿に広告(個人広告も可)をご掲載賜りたくお願い申し上げる次第です。初回と同様に余剰金を生じることが出来ましたら、学校当局と打ち合わせを

意義に運用致したいと考えております。皆様のご理解あるご協力を得て、より充実した内容の名簿刊行をめざしていく所存につき、重ねてお願いをさせていただきます。

【慶應義塾志木高等学校同窓会名簿について】

1. 志木高卒業生(約9,000名)を最新の資料に基づき、氏名・自宅住所・電話番号・勤務先・同電話番号を収録しました。
2. 志木高在校生(約850名)も同様に収録しました。
3. B5判、約600ページ。(10,000部発行予定)
4. 平成4年9月に刊行致します。

広告お申し込みについて

◆原稿は出来るだけ完全版下でお願い致します。

◆広告サイズ及び掲載価格

1 ページ[見開き]	(B5版)200,000円
1 ページ(B5版)	100,000円
1/2 ページ(B5版)	50,000円
1/4 ページ(B5版)	30,000円

◆広告料のお支払いについては、お申し込みと同時に下記宛お振込いただきたくお願い申し上げます。

[広告料金振込口座]

1. 受取人住所：志木市本町4～14～1 [慶應義塾志木高等学校内]
2. 受取人名：慶應志木会・広告費口 [会長 櫻井英太郎]
3. 振込先：大和銀行 朝霞台支店
4. 預金口座：普通預金 [口座番号6808442]

◆広告掲載名簿は発行後、贈呈させていただきます。

◆広告お申し込み先

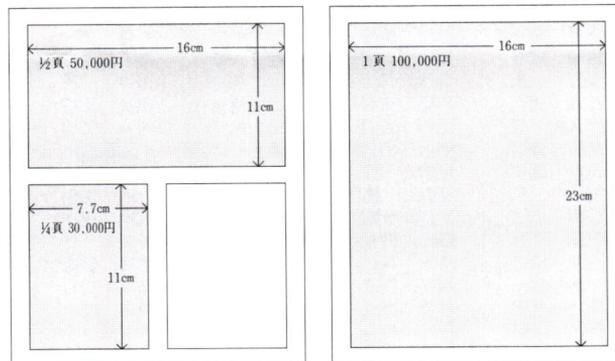
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-11
中西商工株式会社 中西廣策
TEL：03-3356-7743
FAX：03-3356-5494

◆広告に関するお問い合わせ先

慶應志木会名簿委員会
大谷 熙
TEL：03-3632-0005
FAX：03-3635-0012

本橋重夫
TEL：03-3354-2331
FAX：03-3354-8676

小笠原準一
TEL&FAX:048-887-7292



第2回名簿9月発送 乞うご期待!

MESSAGE

お 願 い

・第2回総会実行委員について

去る2月7日（金）に開催されました幹事会において、前回の会報（第6号）でご案内した第2回総会の実行委員を次のとおり決定いたしました。今後は実行委員が中心となって準備を進めていきますが、会員の皆様方のご協力もよろしくお願いいたします。また当日の受付については各期1名は必要ですので幹事の方を中心にあらためて実行委員会より依頼させていただきます。

実行委員長 多田（7期）
副委員長 高橋（4期）、五老（9期）

部会別実行委員（「 」は部会長、*はキャップ）

- (1) 本部 藤井（1期）、高橋（4期）、山田（6期）、真野（6期）、多田（7期）、五老（9期）、荒木（10期）
- (2) 総括 事務局および各部会のキャップを中心に構成
 多田（7期）、高橋（4期）、五老（9期）、荒木（10期）桜井（11期）、鴻田（11期）、伊藤（12期）、大道（12期）岡本（12期）、本橋（15期）、西村（17期）、増山（17期）中西（19期）
- (3) 総務 「大谷」（1期）、立岡（4期）、青木（8期）、*本橋（15期）、小笠原（15期）、原田（15期）、岡本（39期）、丸山（39期）
- (4) 財務 「佐藤」（2期）、寺嶋（5期）、*大道（12期）、須永（17期）
- (5) 受付 「菊地」（1期）、鴻田（2期）、品川（3期）、菅野（3期）、平澤（7期）、磯部（7期）、千葉（13期）、北村（17期）、菅田（20期）、飯田（21期）、外山（23期）、牧野（23期）、赤木（24期）
- (6) 来賓接待 「龍野」（1期）、小林（5期）、菅原（7期）、久保田（9期）、*鴻田（11期）
- (7) 企画進行 「桜井」（11期）、馬淵（11期）、*岡本（12期）、*西村（17期）
- (8) 物品販売 「杉」（4期）、*中西（19期）、山口（35期）、井上（40期）
- (9) 写真 「矢島」（1期）、脇（15期）、宗田（17期）
- (10) 福引 「菅原」（7期）、馬淵（11期）、*西村（17期）、中西（19期）

・各期の幹事について

現在事務局に登録されている各期の正副幹事は次のとおりです。1名しか登録されていない期や転勤等で幹事が変更されている期は早急に事務局までご連絡下さい。

期	正	副	副	副	副
1期	菊池誠之助	藤井 淳			
2期	鴻田一章	佐藤弘司	浅川 浩	遠山正秀	
3期	岩崎勝利	菅野光男	岩瀬 充	品川 仁	
4期	高橋公郎	立岡 進	杉 猛		
5期	宮田 勝	寺島延行			
6期	乙部 勝	内藤久和雄			
7期	鈴木正治	平沢寿郎			
8期	青木宏至	杉本亘孝	大須賀均	磯部和宏	須山了一
9期	南部達雄	久保田晃功	加島延夫	志知英男	今村信男
10期	荒木幸生	馬場紘二			
11期	馬淵祥宏	鴻田益孝	桜井 馨		
12期	岡本 哲	朝倉和行			
13期	森 孝	清水武寿	千葉宗雄		
14期	百瀬大策	築山正俊			
15期	倉田伸二	吉原良一	大関和樹		
16期	川端清治	松島茂樹			
17期	北村基樹	莊 敬典	宗田文明		
18期	奥村一人	福島由明			
19期	藤本賢夫	草ヶ谷吉紀			
20期	木原弘人	福本博行	深尾邦彦	菅田 裕	
21期	飯田光茂	福地敏之			
22期	金子康雄	桜井造雄			
23期	外山公夫	佐藤信也			
24期	赤木 均	島影幸有	田沼 潔	中田一郎	
25期	高橋宣行	小川 洋			
26期	山崎嘉正	金子 泉			
27期	吉野幸宏	大山俊雄			
28期	大館 信	望月 一			
29期	清水 昇	佐々木任人			
30期	岸田一男	木島一郎			
31期	嘩道佳明	内匠屋健	松野 徹		
32期	横江資友	町野素久			
33期	新田 浩				
34期	山下 孝	宇賀神隆	奥山研一郎		
35期	松島 修	山口一午			
36期	秋山亮二				
37期	原田純一	渡辺俊一	鍋島康友		
38期	大坪伸至	知久康成	平尾圭市		
39期	丸山和紀	田中浩樹	岡本健司		
40期	税所篤史	井上晴生			
41期	鈴木 和	柏木 徹			

※連絡先 伊藤清一 (12期) TEL03-3432-1393 FAX03-3432-1394
 増山治一郎 (17期) TEL03-3502-9222 FAX03-3502-9373

編集後記

福沢先生の手紙に「知己の多きは人間の一大快樂、其人を知て之と音信を絶つは亦一大不快なり。何卒詳(つまびらか)に友朋の有様を承り、永く情誼を交通いたし度事に御座候」(明治11. 1. 13本山彦一宛)とある。11月29日(日)新宿京王プラザホテルでの慶應志木会第2回総会には、一人でも多くの仲間が、懐かしい元氣な顔で集まってくれるよう、まず名簿の整備にご協力を…。(馬)

慶應志木会会報 1992(春・夏号)●Vol. 7

平成4年5月20日発行
 編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)
 〒353 志木市本町4-14-1
 発行人 櫻井英太郎
 印刷 ㈱精興社